

子供をまんやかにした**話し合い**を通して**学び**をつなぐ

架け橋プログラム 高知県の取組

～架け橋期の教育の充実に向けて～





高知県

	幼児教育施設 (国公私立)	小学校 (国公私立)
施設数	305 (高知市130)	183 (高知市：43)

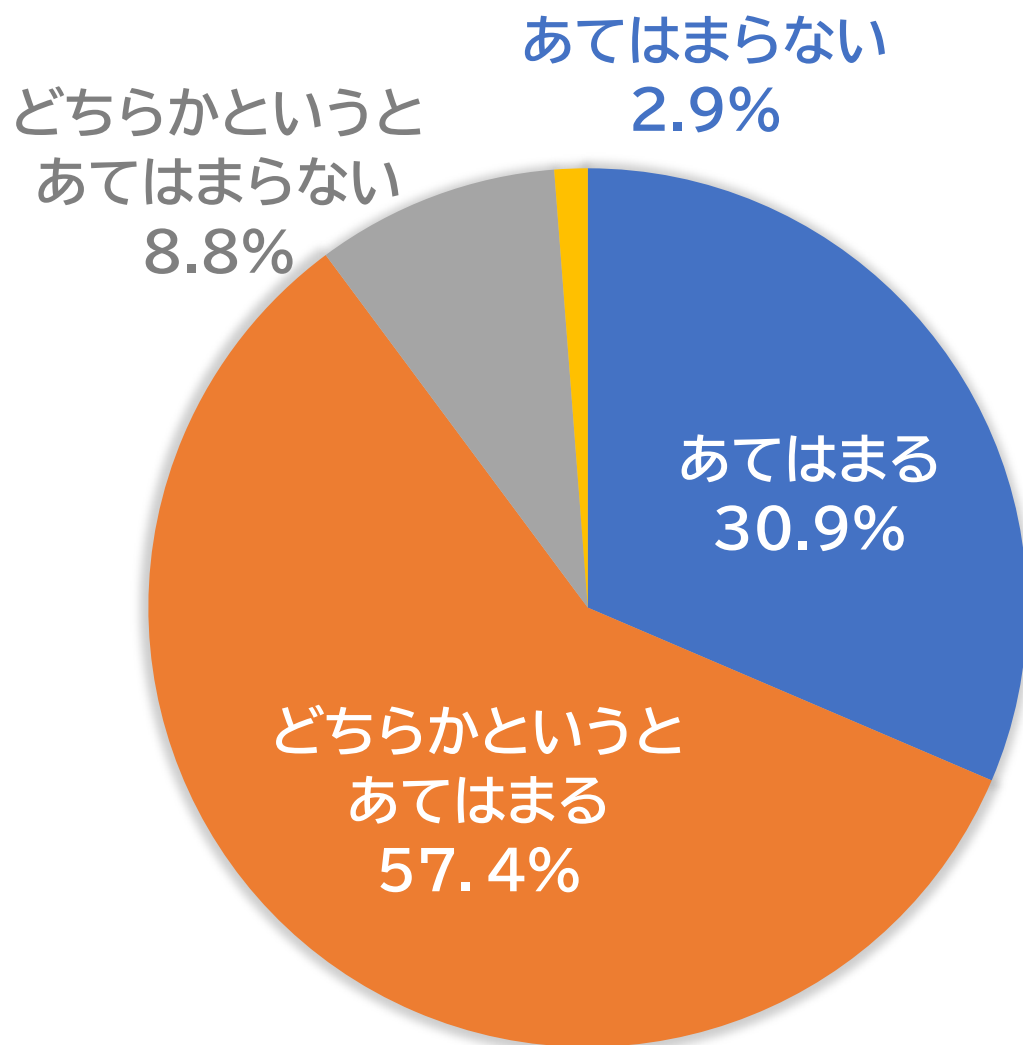
R6.4時点

幼保小の架け橋プログラム事業 高知県の取組【調査研究概要】

中核市の高知市において、複数の保育所・幼稚園等から小学校に入学する比較的規模簿の大きい校区をモデル地域とし、協働しながら取組を進めている。

成果

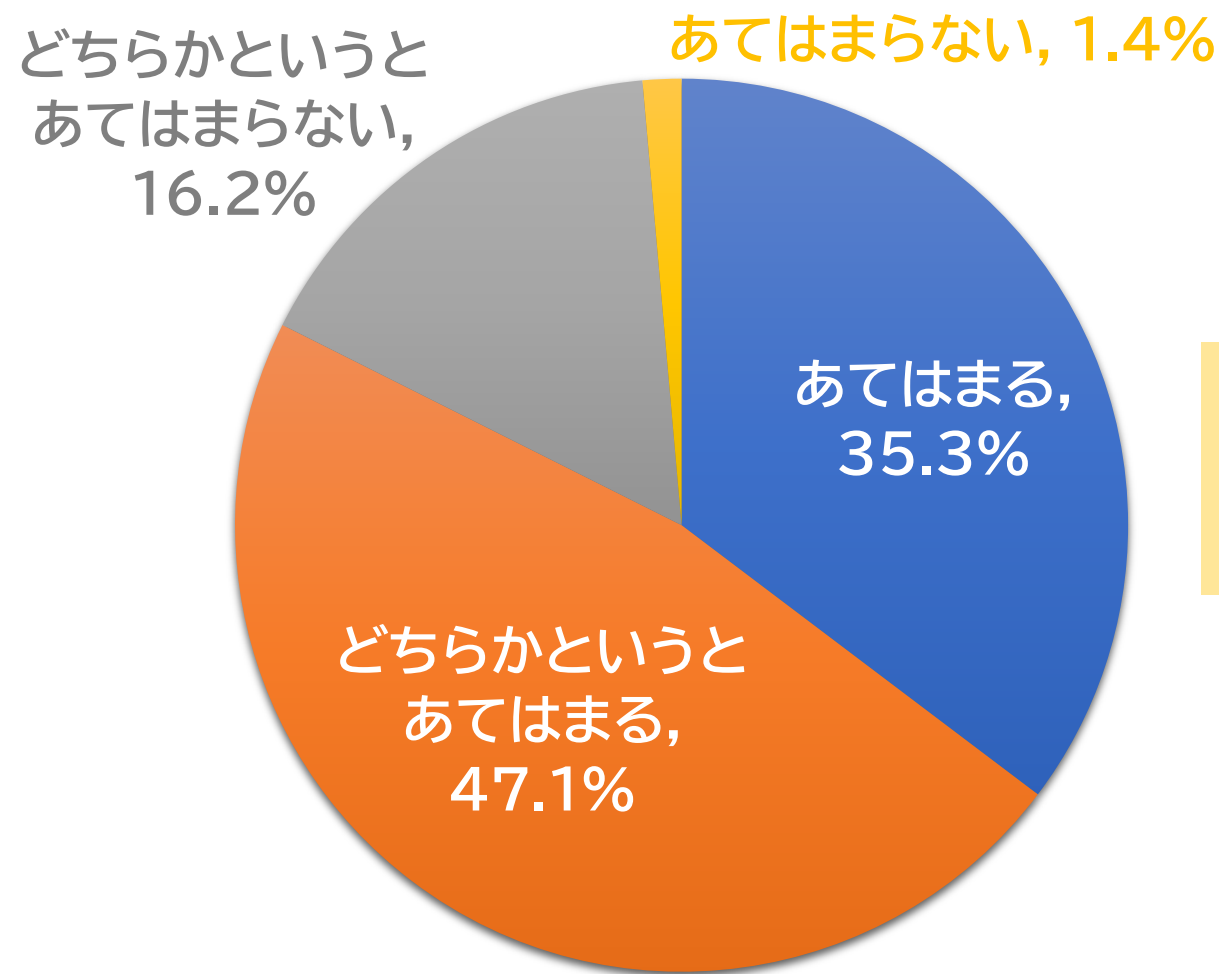
Q. 架け橋プログラムに取り組むことで子どもの主体性は高まっていると感じますか。



88.3%

が感じると回答

Q. 架け橋プログラムに取り組むことで、自身の保育や授業に対する考え方や方法に変化がありましたか。



82.4%

が変化があったと回答

高知県の取組 成果報告の流れ

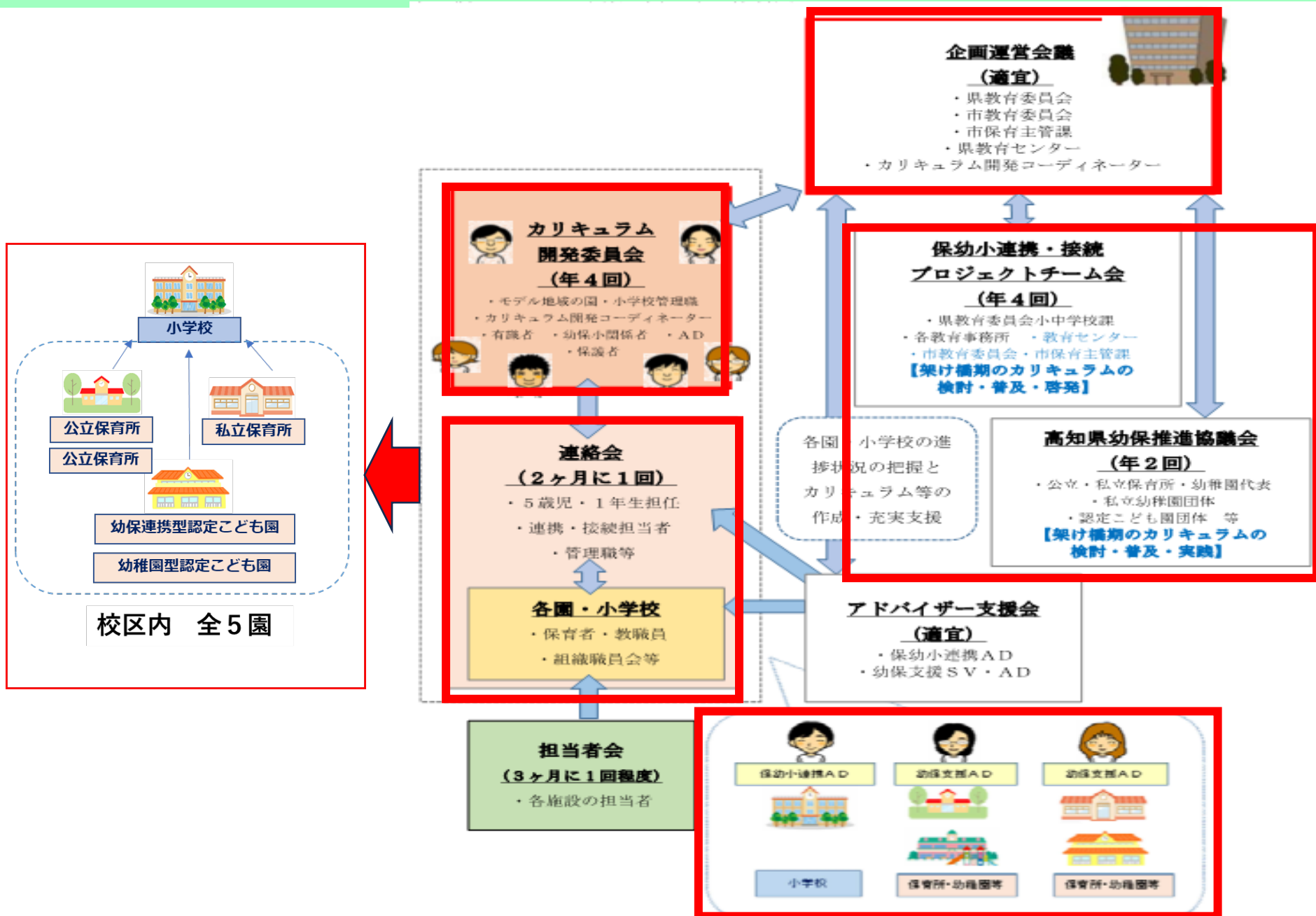
- ① 会議体を含む体制づくり
- ② 架け橋期のカリキュラム作成のプロセス
- ③ 子供・保育者・教師の変容
- ④ 持続可能な取組に向けて



① 会議体を含む体制づくり

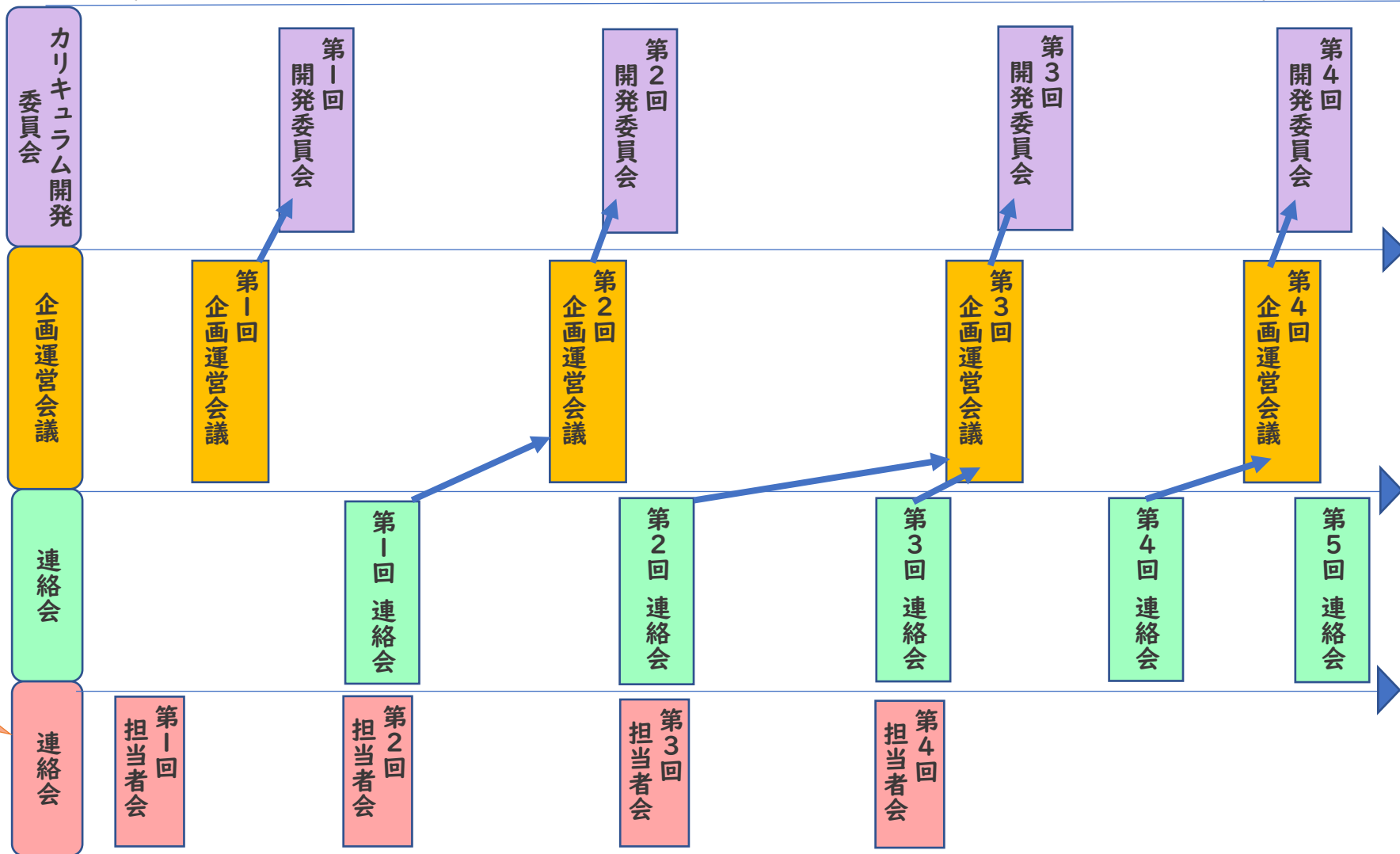


高知県「架け橋プログラム」体制図



「架け橋プログラム」における会議体（１～３年目の取組）

4月 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3月



2年目から

園児・児童・
教保育者等

園内研修(5歳児)
校内研修(1年生)
交流活動

交流活動

交流活動

一日入学

園内研修

園内研修

園内研修

校内研修

園内研修

子供のよさと課題から めざす子供像を共有

R 4.5.9 (月)

カリキュラム開発会議に向けての学習会 協議内容 「香野東小学校区子ども達のよさや課題について」

H4.5.9 (月)

《よさ》

友だち（同年齢）を大切にできる

- ・友だちが困っているときに声をかけることができる。
- ・仲間意識が強く、皆で助け合える。
- ・異年齢児との自然な関わりがある。
- ・小さい子どもが好きでお世話が出来る。

学びに対する興味・関心

- ・友だちとの手紙のやりとりで文字に興味がある。
- ・宿題の提出率が比較的高い。(小)

元気・戸外遊びを好む

- ・元気に挨拶ができる。
- ・外遊びが好きで、楽しんでいる。
- ・自然に恵まれているため、外遊びが大好き。

情緒の安定

- ・穏やかで、思いやりがある。(年上、年下、友だちに興味がある)
- ・穏やかで、情緒が安定している(小)

素直

- ・人なつっこい
- ・素直で、大人への警戒心がない。(小)

自然物への興味・関心

- ・生き物や花、葉っぱ、土など自然と関わるのが好き。
- ・生き物に興味があり、探究心をもって遊んでいる。

- ・規範意識が高い。(小)
- ・言葉遣いがよい。(小)

表現力・伝える力

- ・表現力が豊かである。
- ・自分の思いを伝える力

《課題》

遊び・体験の充実・工夫

- ・体験が十分できていない
- ・好きな遊びを見つける（遊びの工夫）ことや遊びを生み出すことが苦手
- ・おもしろい（ユニークな）子が少ないような・・・
本当はあるのかもしれないが・・・(小)

課題発見

自ら課題を見つけることが苦手
(海樺的) (小)

不安感・自信のなさ

初めての活動に戸惑い、前に進めない(特に一人でやる時)

指示待ち

- ・指示を待つ姿がある。
- ・失敗を恐れるために、指示待ちが多くなる。
- ・困っているときに助けを求められずにいる。

思考力・読み解く力

- ・発想が偏った(種、型)にはまりがち(小)
- ・想像を伴う活動に苦手さ(小)

意欲

意欲に少し欠ける。

表現力

説明する力(言語化する力)(記述)(小)

声が小さい。

対話が少ない。

自己中心的

- ・自己中心的などところがある。(友だちの思いを聞くことが苦手)
- ・遊びの中でエスカレートしてけがをすることがある。(時に友だちを傷つける)

集中しなければなら

《課題に対する要因》

- ・子どもに任せることができない(小)
- ・先生の指示通りにすることが面白いことと思わせている。(小)
- ・先生の話が多すぎる(大切なことは伝えにくい)(小)
- ・保育者が待つことができていない
- ・子どもに考えさせると思っている。つい、うっかり、保育者が指示をしてしまっている。

- ・環境作り
- ・遊び環境を保育者が考えられていない。
- ・遊びが限定的になっているのではない。
- ・好きな遊びから引き出すこと
- ・子どもの発想が豊かになるような環境構成で関わり方
- ・挫折体験が少ない。
- ・子どもの考える機会を奪っている大人の関わり
- ・考えさせる保育

- ・子ども一人一人にしっかりと向き合うことができていない。
- ・一人一人の小さな気づきや思いに保育者が目を向けていない。
- ・一人一人に個性に教育

先生の意識が不十分

教育方法を知らない
(見る機会がない)

主体的・対話的・深い学びが浸透していない

- ・あなたはあなたという絶対課題
- ・一人一人を大切にする意識

- ・一番になりたい気持ち



【子どもの実態から、今後育んでいきたい力】

～学びの芽生え・学力（資質・能力）向上に向けて～

知識・技能（の基礎）		思考力・判断力・表現力等（の基礎）	
(A) チャレンジ精神 ・物事に主体的に取り組む力 ・他人に働きかけ巻き込む力 ・目的に向かって行動する力 ・あきらめずに最後まで頑張る力		(B) 自尊・他尊 ・一人一人のよさに気づき、認める力 ・自分は頑張ることができるという感情、自信 ・周囲から愛されているという感情 ・自分のことが好きという感情	

中学校区のコミュニティースクールのめざす子供像と同じにした

【学びを支える力とめざす子ども像につながる具体的な姿（・・）】

小学校「主体的に関わり合い、発揮できる子ども～自ら課題を解決し、仲間を生かして解決する～」

保育所・幼稚園・認定こども園等					架け橋期	小学校								
前期 0歳	1歳	2歳	中期 3歳	後期 4歳	後期 5歳児	低学年 1年生	低学年 2年生	中学年 3・4年生	高学年 5・6年生					
0歳から12歳までの子供の具体的な姿を表した														
安心して自己発揮する					自分や集団の成長を感じ、自信をもつ									
・人やものの存在を感じる。 ・五感で感じる。 ・身の回りの人やものに関心をもって関わる。 ・好きな遊びや場所を見付けて安心して繰り返し楽しむ。 ・友達や保育者と一緒にすることを喜ぶ。 ・友達や保育者と一緒に考えたり、工夫したり、試したり、協力したりする。					・季節や生活の変化に気付く。 ・友達や先生と一緒に挑戦しようとする。 ・友達や保育者と一緒に工夫し、試行錯誤しながら遊びを進める。 ・生活や活動に見通しをもち、自信をもって行動しようとする。 ・幼児期の経験をもちに考え、伝えようとしている。 ・興味・関心が広がる。 ・不思議に感じたことについて見通しをもって調べる。					・既習事項を生かし、見通しをもって学習に取り組んでいる。 ・相手に伝わるように話している。 ・自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりして学びを深めている。 ・必要の情報を得るためにどうすればいいかを考えている。 ・自ら課題を設定し、積極的に学習に取り組んでいる。				
・特定のの人に依存し、愛着を感じる。 ・快・不快を表現する。 ・特定のの人に見守られ、認められ、安心を感じる。 ・安心感を感じる。 ・行動を共有(まね)する。 ・身の回りのことを自分でやってみたいことを主張する。 ・自分の気持ちを何となく表現する。					・自分の意見を言ったり、友達の意見を聞いたりしながら自分の考えを表現する。 ・自分で決めて自分で行動する。 ・自分のよさを伝え、認められ、自信をもつ。 ・自分のよさを伝え、認められ、自信をもつ。 ・自分のよさを伝え、認められ、自信をもつ。					・自分や友達のよさに気付き、相手を受け入れ、尊重しようとしている。 ・学校の役に立つことを考え、行動している。 ・必要の情報を取捨選択している。 ・認め合ったり、励まし合ったりしながら自分や集団の成長を感じている。				
・特定のの人に暗黙や体の動きで気持ちを表す。 ・言葉と感情を分けられる。 ・生活の中の言葉が分かる。 ・言葉と文字がつながる。 ・家族や親しい人との会話を楽しむ。 ・相手の分りやすい話すことの大切さに気付く。					・自分の考えを相手に伝え、相手の考えと共通点を見つけていく。 ・自分の考えを相手に伝え、相手の考えと共通点を見つけていく。 ・自分の考えを相手に伝え、相手の考えと共通点を見つけていく。 ・互いの話に関心をもち、相手の思いや考えを受け止める。 ・相手の話を最後まで聞き、自分との違いに気付いている。					・自分の考えの伝え方を工夫したり、相手の考えを聞いて自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・多様な考えを受け入れ、尊重している。				
いろいろな人やものと触れ合う					地域に愛着をもって関わる									
・特定の人のやさしさや愛着を感じ、コミュニケーションがとれる。 ・言葉の響きを楽しむ。 ・身近な大人や友達や自然と関わる。 ・地域の人や自然、行事を知る。 ・あこがれをもつ。 ・地域の人や物に親しみをもって関わる。					・地域の自然に触れることで季節の移り変わりを感知する。 ・地域の人や自然に愛着をもち、自然を大切にしたり、安全で適切な行動をしつづける。 ・地域の人やもののよさや特徴に気付く、関わっている。 ・自分の住んでいる地域で働いている人と関わりをもち、春野町のよさや特徴に関心をもち、					・地域を詳しく知り、よさや特徴に気付いている。 ・地域のよさや特徴について知ったことを伝えている。 ・課題解決に向け、自分たちにできることを考え、地域と関わろうとしている。 ・地域のよさを生かしながら、課題に目を向けて解決を図っていく。 ・地域の人やものとの関わりを通して、課題解決を図っている。				

0歳から12歳までの子供の具体的な姿を表した

「架け橋プログラム」における会議体（１～３年目の取組）

4月 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3月

カリキュラム開発
委員会

第1回
開発委員会

第2回
開発委員会

第3回
開発委員会

第4回
開発委員会

企画運営会議

第1回
企画運営会議

第2回
企画運営会議

第3回
企画運営会議

第4回
企画運営会議

連絡会

第1回
連絡会

第2回
連絡会

第3回
連絡会

第4回
連絡会

第5回
連絡会

連絡会

第1回
担当者会

第2回
担当者会

第3回
担当者会

第4回
担当者会

2年目
から

園内研修(5歳児)
校内研修(1年生)
交流活動

交流活動

交流活動

一日入学

園内研修

園内研修

園内研修

校内研修

園内研修

園児・児童・
教員等

カリキュラム開発委員会

【年 4 回実施】

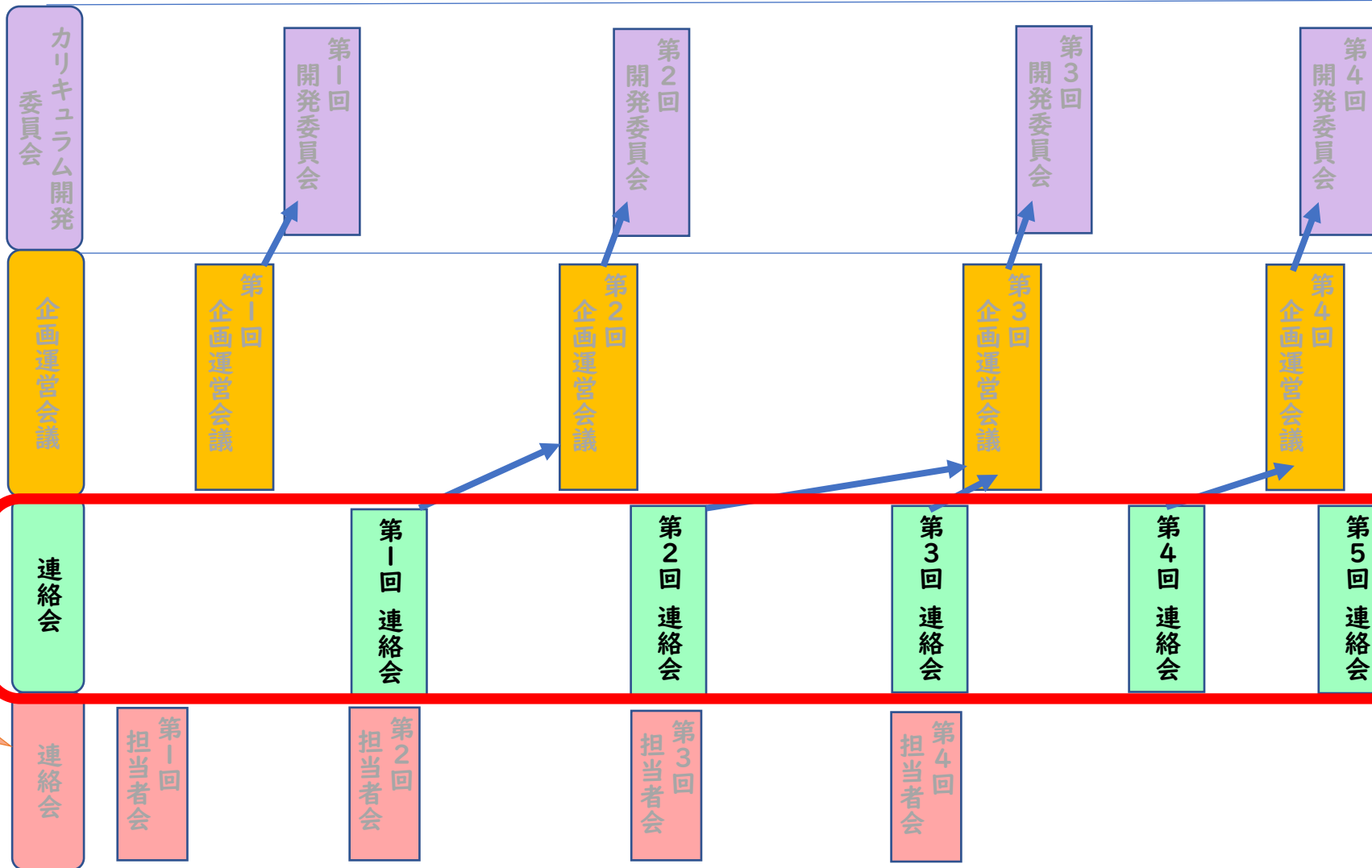
参加者： 架け橋期のコーディネーター、
有識者、アドバイザー、保護者
保育所、認定こども園、小学校
市教育委員会学校教育課、市こども未来部保育幼稚園課、
教育センター、事務局



- 内容：
- ・ 各施設の実態・取組
 - ・ めざす子供像、方向性の共有
 - ・ 架け橋期のカリキュラムについて
 - ・ 項目
 - ・ 内容
 - ・ 連絡会等の実践者の話し合いの共有
 - ・ 各所属での取組 等

「架け橋プログラム」における会議体（１～３年目の取組）

4月 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3月



2年目から

園児・児童・
教員等

園内研修(5歳児)
校内研修(1年生)
交流活動

交流活動

交流活動

一日入学

園内研修

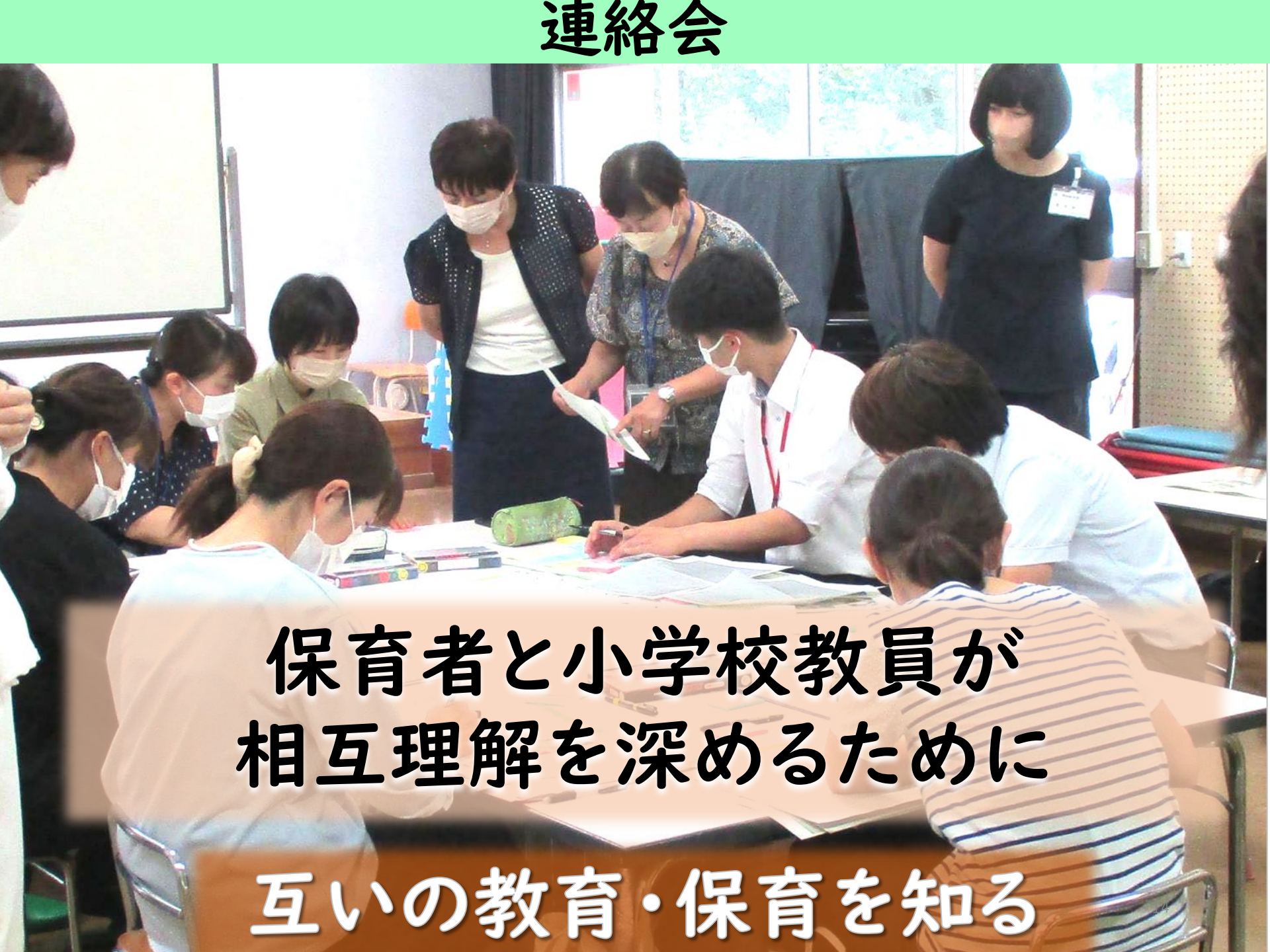
園内研修

園内研修

校内研修

園内研修

連絡会



保育者と小学校教員が
相互理解を深めるために

互いの教育・保育を知る

同種の活動や学びで話し合う

- ① 植物や生き物の世話
- ② 水を使った遊びや学習
- ③ 体を動かす遊びや学習
- ④ 秋の自然物を使った遊びや学習
- ⑤ 正月遊び

子供の姿から共通点や相違点の共有

幼児期の経験と教科のつながりについて話し合う

- ① 数量や図形に関する経験から算数科へ
- ② 言葉による伝え合いや文字に関する経験から国語科へ

子供の姿から幼児期と児童期の
ねらいや大切にしていることの共有

幼児教育施設

遊びの工夫や改善に



幼児期に

小学校の時計の課題から、クラスの時計はアナログ時計だから、時間を意識するときに、時計を見る機会をつくろう。



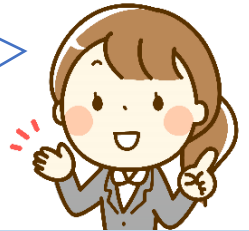
アナログ時計を使った遊びができるような環境を作ってみよう。

保育者

小学校

授業の工夫や改善に

経験した話しやすい形態で授業をすると、子供も安心して自分の思いが言えたり活動できたりするよね。



小学校教諭



みんなで集まって

「架け橋プログラム」における会議体（１～３年目の取組）

4月 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3月

②

カリキュラム開発
委員会

第1回
開発委員会

第2回
開発委員会

第3回
開発委員会

第4回
開発委員会

①

企画運営会議

第1回
企画運営会議

第2回
企画運営会議

第3回
企画運営会議

第4回
企画運営会議

③

連絡会

第1回
連絡会

第2回
連絡会

第3回
連絡会

第4回
連絡会

第5回
連絡会

2年目
から

④

連絡会

第1回
担当者会

第2回
担当者会

第3回
担当者会

第4回
担当者会

園児・児童・
教保育者等

園内研修(5歳児)
校内研修(1年生)
交流活動

交流活動

交流活動

一日入学

園内研修

園内研修

園内研修

校内研修

園内研修

幼児教育施設の公開保育へ小学校教員が参加

夏休みの活用

小学校教員へ**保育の見方**について説明



保育を見る視点

高知県教育委員会事務局幼保支援課

ホームページに読み原稿付きのパワーポイントで掲載し、必要な時、すぐに使えるようにしています

幼児教育施設の公開保育へ 小学校教員と校区内の他園保育者が参加



保育参観



協 議

架け橋期の
カリキュラムの活用



子供の育ちつつある力
を共有

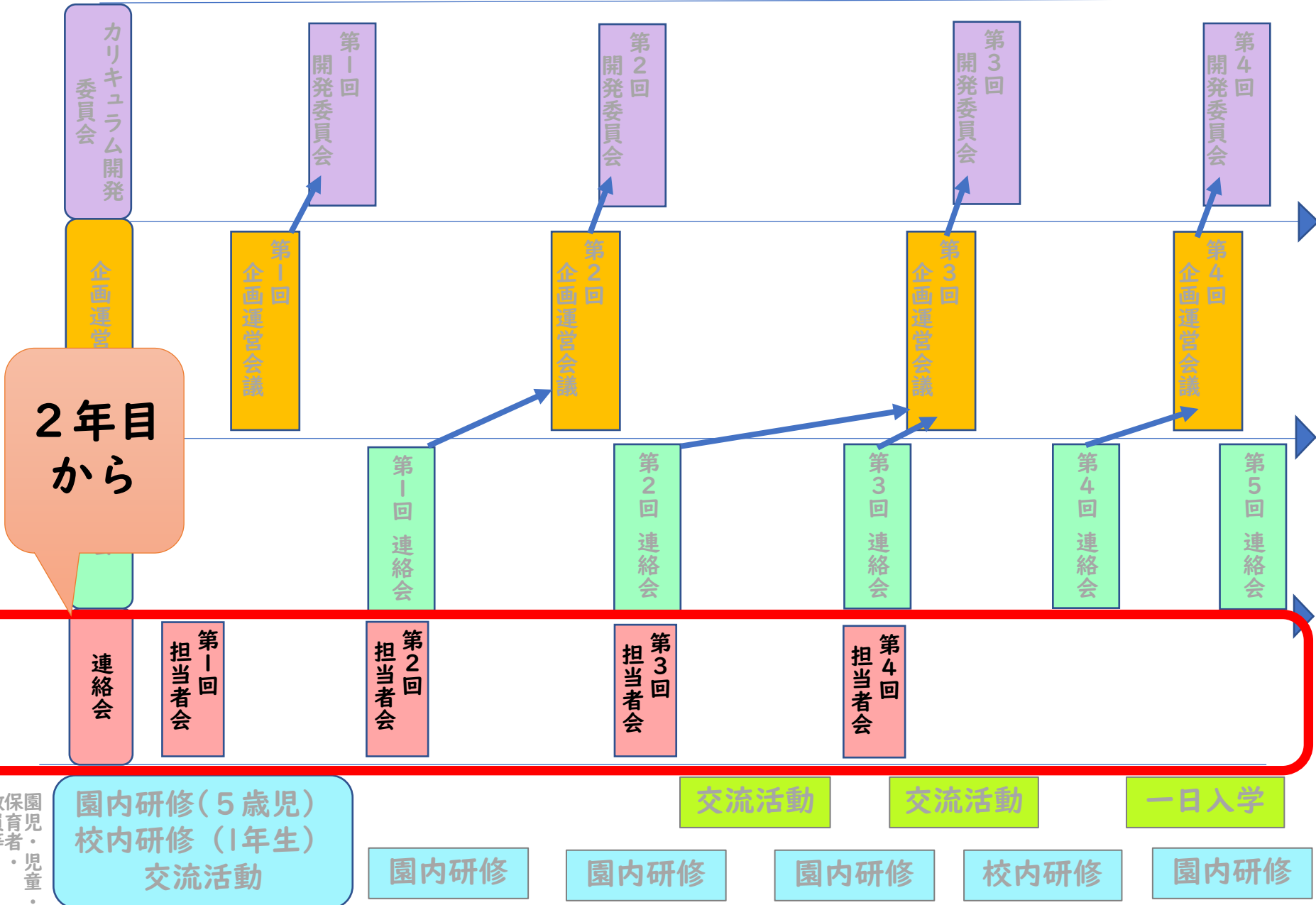
小学校の研究授業へ保育者が参加



保育者が協議にも参加して、授業の中で
育つ力や担任が大切にしていることを知る

「架け橋プログラム」における会議体（１～３年目の取組）

4月 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3月



自発的に始まった 担当者会

【年 4 回程度実施】 必要だと思うときに、接続担当者同士で声を掛け合って実施

参加者：各施設の接続担当者



- 内容：
- ・年間計画を立てる
 - ・交流活動・1日入学・公開保育日
 - ・公開授業日 等
 - ・子ども達の今後を見通しながら、必要な経験について意見交換をする